

表1 発熱量、発電効率、炭素量の比較

	準備書段階の計画 (A案)	変更後の計画 (B案)	B/A (%)
発熱量(kcal/h) =燃焼量(kg/h)× 低位発熱量(kcal/kg)	41,483,400(kcal/h) =16,660(kg/h)× 2,490(kcal/kg)	43,645,000(kcal/h) =20,300(kg/h)× 2,150(kcal/kg)	105
発電効率(kW/kcal/h)= =発電出力(kW)÷ 発熱量(kcal/h)	2.77×10^{-4} (kW/kcal/h) =11,500(kW)÷ 41,483,400(kcal/h)	3.32×10^{-4} (kW/kcal/h)= =14,500(kW)÷ 43,645,000(kcal/h)	120
炭素量(kg/h)= =焼却量(kg/h)× (1-水分率)×炭素含有率	5,425(kg/h) =16,660(kg/h)× (1-0.319)*0.4782	5,843(kg/h)= =20,300(kg/h)× (1-0.430)*0.5050	108
発電出力当たりの炭素量 (kg/h/kW) =炭素量(kg/h)÷発電出力 (kW)	0.472(kg/h/kW) =5,425(kg/h)÷ 11,500(kW)	0.403(kg/h/kW) =5,843(kg/h)÷ 14,500(kW)	85
燃焼量(kg/h)	16,660	20,300	—
水分率(%)	37.9	43.0	—
炭素含有率(乾燥%)	47.74	50.5	—
水素含有率(乾燥%)	5.53	6.1	—
酸素含有率(乾燥%)	41.45	40.7	—
灰分その他含有率(乾燥%)	5.28	2.7	—
低位発熱量(kcal/kg)	2,490	2,150	—

1-1 事業者の氏名

名 称：大月バイオマス発電株式会社

代表者：代表取締役 森田 兼光

住 所：山梨県大月市大月町花咲 1687 番地 4

1-2 事業の名称等

1-2-1 対象事業の名称

大月バイオマス発電事業

1-2-2 対象事業の種類

第 2 種事業 工場又は事業場の建設事業（電気供給業）

（山梨県環境影響評価条例 第 2 条 別表 18）

1-2-3 事業の規模

対象事業の規模は、表 1-2-1 に示すとおりである。

表 1-2-1 対象事業の規模

項 目	規 模
工場の敷地面積	約 19,275m ²
発電所	内部循環式流動層ボイラ 1 台 蒸気タービン 1 台
排出ガス量	※85,000Nm ³ /h～90,850Nm ³ /h
炭素量	※6,000kg/h 以下
使用燃料	生木屑チップ・非常時のみ PKS（椰子殻）
発電出力	14,500kW（外気温 13℃時）

注釈）※：燃料構成により排出ガス及び炭素量に増減がある。

備考）PKS は非常時の予備的な燃料として使用する。

1-2-4 対象事業の実施時期

対象事業の全体行程は、表 1-2-2 に示すとおりである。

表 1-2-2 対象事業の全体行程

項目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27・28 年度	平成 29 年度
環境影響評価		方法書提出	方法書説明会開催	準備書提出 準備書説明会開催	評価書提出	
工事						
供用						

1-2-5 事業の実施方法

(1) 施設設置計画

本事業計画により実施される施設は、表 1-2-3 及び図 1-2-1～2 に、全体フローは図 1-2-3 に、燃料・排気フローは図 1-2-4 に示すとおりである。

表 1-2-3 施設計画

施設	計画の概要	
蒸気タービン発電機棟	構造	鉄骨造
	高さ	17m
	面積	約 1,200m ²
ボイラ支持架構	構造	鉄骨造
	高さ	29m
	面積	約 600m ²
燃料受入棟	構造	鋼製サイロ
	高さ	26m
	面積	約 500m ²
ダクト (煙突)	構造	鉄骨造
	高さ	35m
	排出口径	1.4m

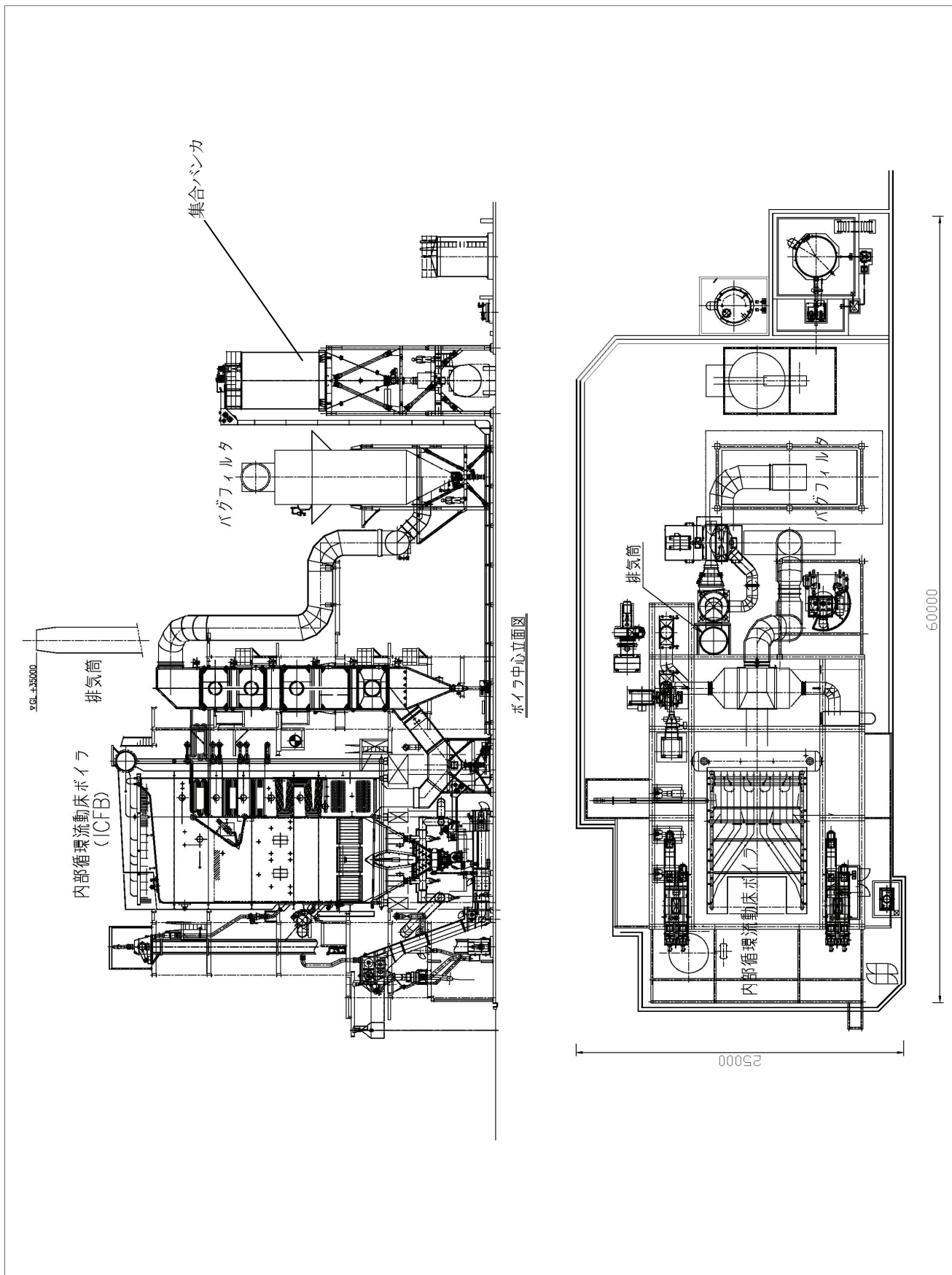


図 1-2-1 設置計画全体配置図

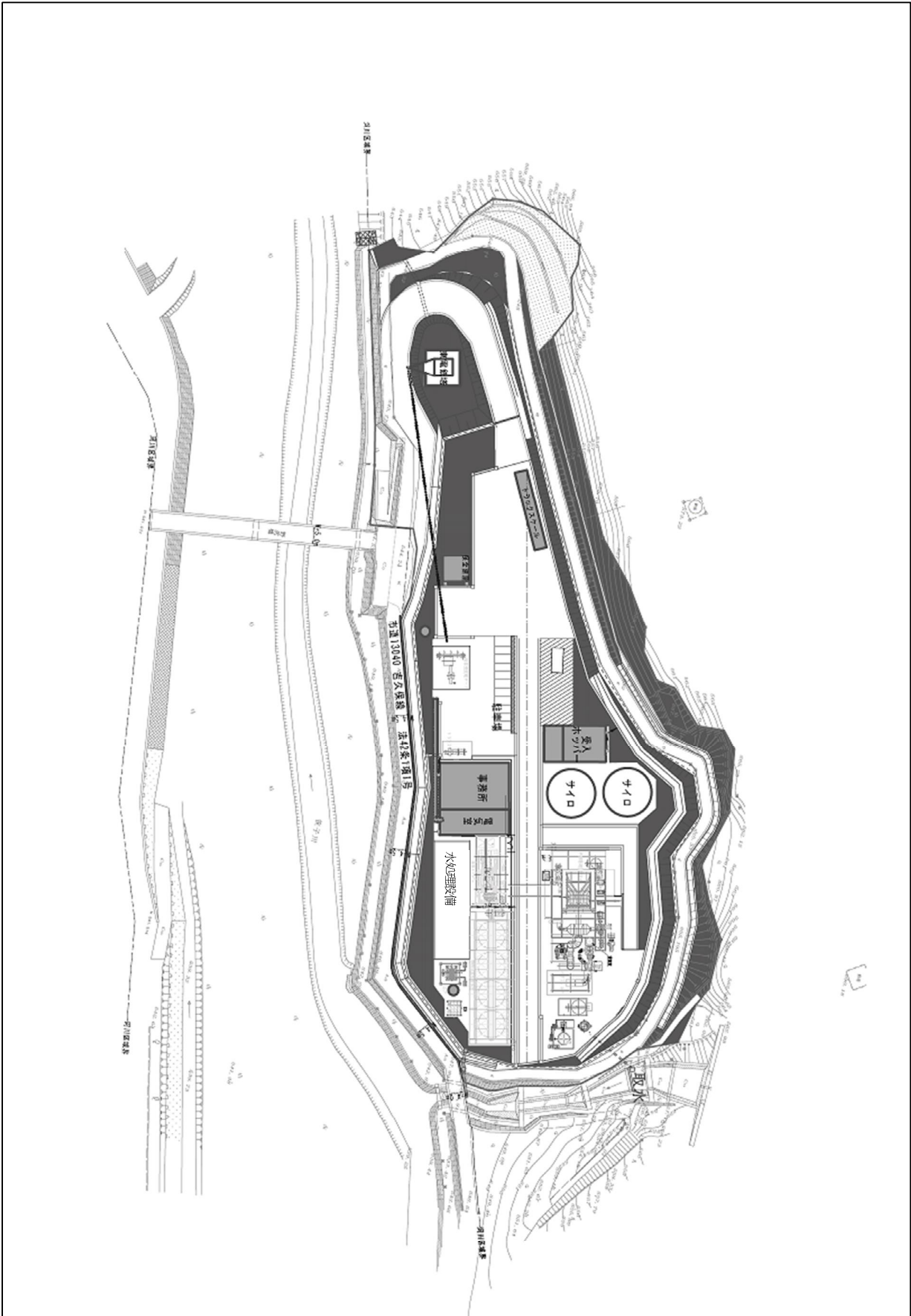


図 1-2-2 設置計画土地及び施設配置図